

2026年9月28日

裾野市地域公共交通活性化協議会 委員各位

富士急シティバス株式会社

裾野市内循環線の退出について

1. これまでの当社の状況

当社はこれまで国、静岡県、沿線自治体からの補助を受け、また高速バスや貸切バスの利益の内部補填により、生活路線である路線バスの維持に努めて参りました。各種給付金や補助金のご支援をいただいておりますが、利用者の減少が止まらず、多額の赤字を日々計上している状況です。

これに加え、運転者は根本的に不足しており、更に高齢化により、定年退職者の増加も見込まれます。新しい運転者を確保するためには他産業と同レベル以上の待遇を用意する必要があります。

また、運転者の確保を進め、新たに運転士になる意欲のある者を採用しております。この結果、新規採用となった後に二種免許を取得して、当社で初めて大型バス車両に乗務する者が全体の3割となりました。今後、運転者が増加していくことから、今までのような狭隘路を運行することは避け、運行難易度を下げる必要が発生しております。

なお、車両導入についても、排気ガス対策をはじめとした各種規制の強化、安全装備の拡充(EDSS等)、ICカード対応、そして物価の高騰により、車両及び装備される車載器の価額が上昇しており、車両更新が厳しくなっております。

2. 申出路線について

現在の利用状況を確認するところ、南北線や小中学生利用のない時間帯の須山線のように同時乗車数は最大でも10人未満の路線が増えております。運転者不足の中、貴重な大型二種免許を持った運転者を、バス車両の大人数が同時に乗車できるという特性が生かせない路線に投入し続けることが難しくなりつつあります。そのような系統について、公共交通の継続が必要であれば市・地区等による他の方法への移行を実施いただきたくお願い申し上げます。

今後 大幅な見直しが必要と考えられる主な路線

系統名	系統の区間(____が運行を見直す路線・区間)	備考 (希望時期)
裾野市内循環線	<u>東西線</u>	令和9年3月末
	<u>南北線</u>	
須山線	三島駅～裾野駅～ <u>呼子団地入口～須山</u> (国庫補助)	今後の検討
	<u>裾野駅～呼子団地入口～須山</u>	
	<u>裾野駅～呼子団地入口</u>	

さて、今般は、見直しが必要な路線のうち、裾野市内循環線につきまして、退出希望を申出させていただきたく、ご説明させていただきます。

3. 裾野市内循環線 について（2027年度3月31日での退出希望路線）

路線の現況

裾野市内循環線は、令和4年(2022年)4月1日より、裾野市地域旅客運送サービス継続事業実施計画にもとづき、国からのフィーダー補助と、貴市からの路線補助を受けて運行しているところでございます。

しかしながら、令和9年3月31日で国の補助の根拠である地域旅客運送サービス継続事業実施計画は終了し、継続事業特例の適用がされなくなります。

また、人件費の上昇や燃料に限らない物価高騰が起きている一方、補助金については過去の数値を参考として基準が決められており、実際の運行時には補助をうけても赤字の状況となっています。そして、その補助も終わること、また裾野市内循環を運行するのに必要な小型車両の維持の見込みが立たず、車両更新も高額になるため、退出を申し出させていただくものです。

収支状況 ※期間:2024年10月～2025年9月(国庫補助の対象期間としております)

東西線

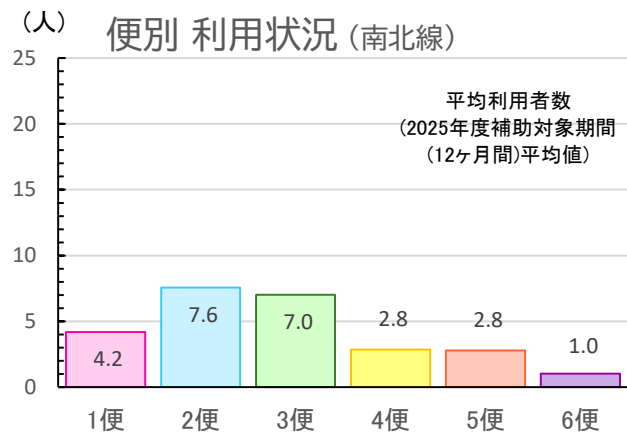
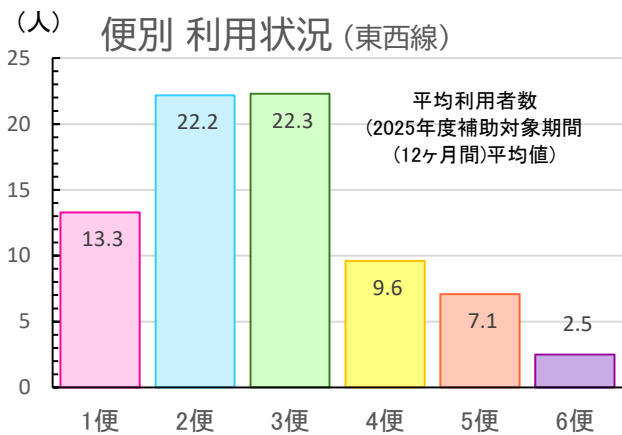
年度	利用者数 年間	運行経費 (A)	運賃収入 (B)	収支状況 (B-A)	収支率 (B÷A)	国庫補助	補助額 裾野市	合計額	バス事業者 負担額	補助後 収支率
2023年度	7,234 人	5,750 千円	1,837 千円	▲3,913 千円	31.9%	1,762 千円	1,765 千円	3,527 千円	▲386 千円	93.3%
2024年度	6,834 人	6,527 千円	1,521 千円	▲5,006 千円	23.3%	1,942 千円	1,943 千円	3,885 千円	▲1,121 千円	82.8%
2025年度	10,768 人	12,177 千円	2,722 千円	▲9,455 千円	22.4%	2,334 千円	4,023 千円	6,357 千円	▲3,098 千円	74.6%

南北線

年度	利用者数 年間	運行経費 (A)	運賃収入 (B)	収支状況 (B-A)	収支率 (B÷A)	国庫補助	補助額 裾野市	合計額	バス事業者 負担額	補助後 収支率
2023年度	4,545 人	3,900 千円	976 千円	▲2,924 千円	25.0%	1,330 千円	1,331 千円	2,661 千円	▲263 千円	93.3%
2024年度	4,071 人	4,336 千円	790 千円	▲3,546 千円	18.2%	1,400 千円	1,401 千円	2,801 千円	▲745 千円	82.8%
2025年度	2,543 人	6,573 千円	652 千円	▲5,921 千円	9.9%	1,795 千円	2,451 千円	4,246 千円	▲1,675 千円	74.5%

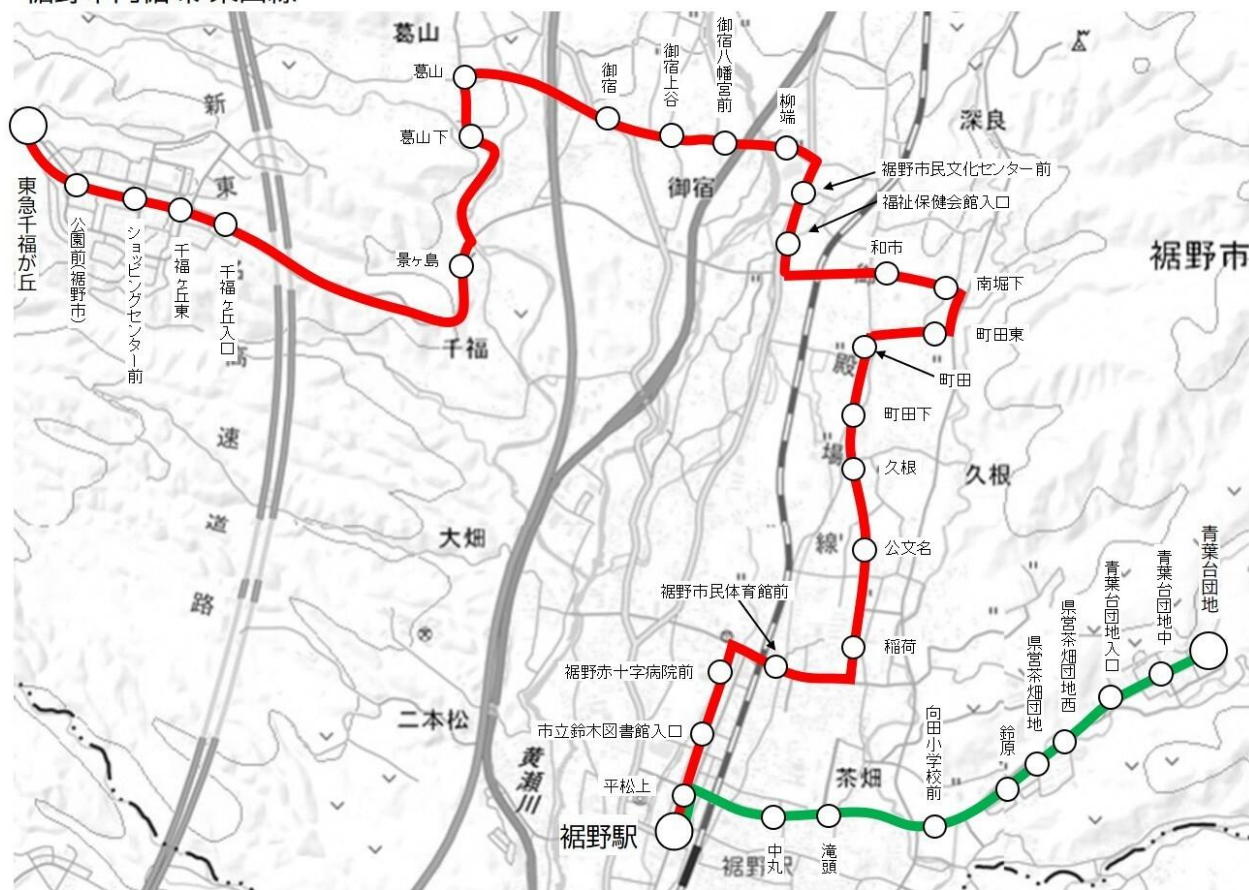
2025年度の利用状況 ※期間:2024年10月～2025年9月(国庫補助の対象期間としております)

- 東西線は76.9人/日、12.8人/便の利用
 - ・青葉台茶畑団地方面、千福ヶ丘方面への利用がある
- 南北線は25.4人/日、4.2人/便の利用。
 - ・個別の状況では利用者が0名の便もある。また富沢方面へは利用がほとんどない。
 - ・南北線においては1便あたりの利用数が10名を超える場合もあるものの、同時の乗車数は10名を超えていない

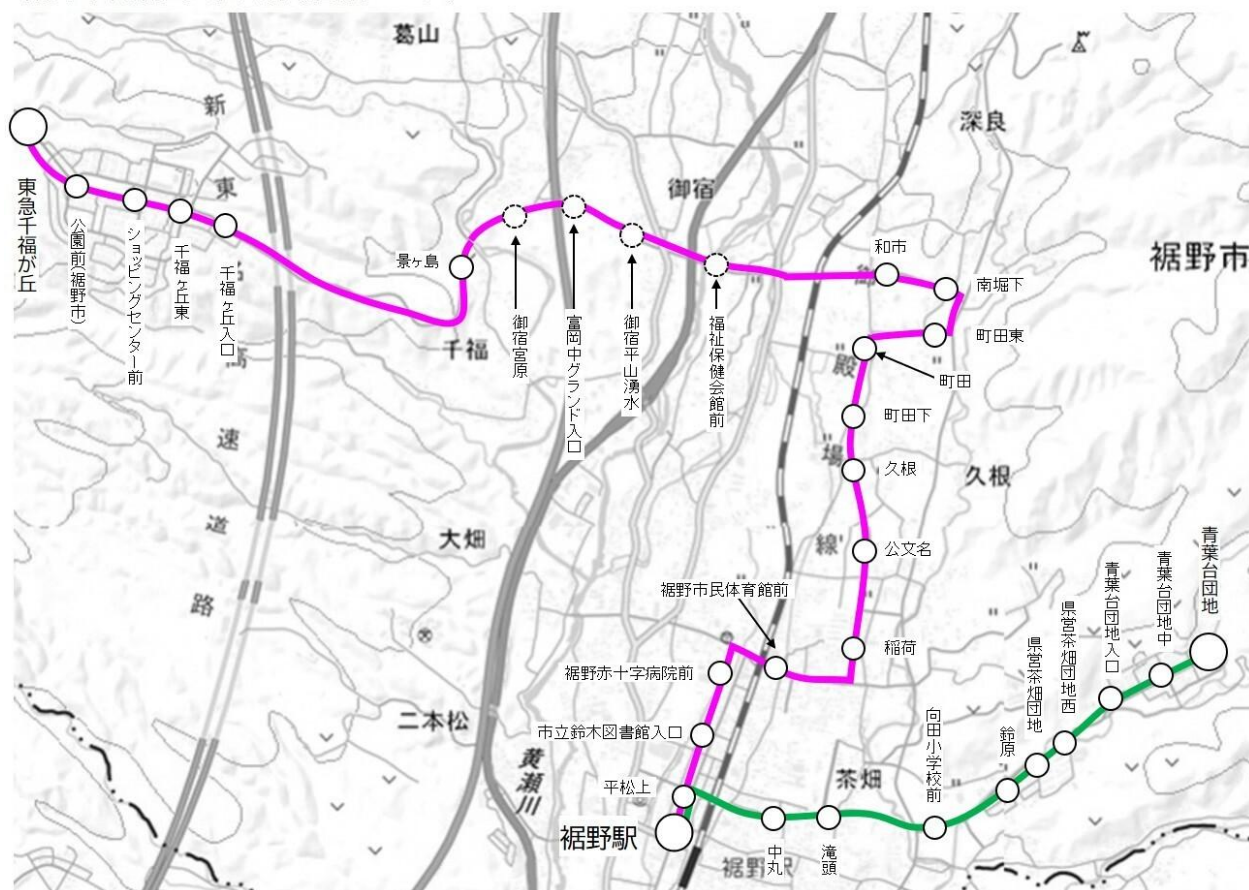


路線図

裾野市内循環 東西線



裾野市内循環 東西線(短絡ルート)



路線図

